

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第62期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	寿スピリッツ株式会社
【英訳名】	Kotobuki Spirits Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 河越 誠剛
【本店の所在の場所】	鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
【電話番号】	0859(22)7477(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画部部长 松本 真司
【最寄りの連絡場所】	鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
【電話番号】	0859(22)7477(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画部部长 松本 真司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第2四半期連結 累計期間	第62期 第2四半期連結 累計期間	第61期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	9,808,823	10,822,747	20,654,615
経常利益(千円)	830,026	898,195	1,889,375
四半期(当期)純利益(千円)	497,587	492,646	1,042,627
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	489,642	489,419	1,057,951
純資産額(千円)	6,521,649	7,268,173	7,089,958
総資産額(千円)	13,332,590	13,804,957	13,754,894
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	47.97	47.49	100.51
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	48.9	52.6	51.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	458,193	545,061	1,573,802
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	266,663	506,621	707,875
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	296,804	264,640	740,863
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	1,876,596	1,880,734	2,106,934

回次	第61期 第2四半期 連結会計期間	第62期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	27.82	34.60

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、新政権の景気回復に向けた経済政策への期待感を背景に高額商品の消費が上向くなど消費マインドに改善の兆しが見られた反面、雇用情勢や所得環境の改善の遅れに加え、消費税増税など先行きに対する懸念から節約志向がまだまだ強く、楽観視できない状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の具現化を目指し、『ニューコンセプトメーカー』のスローガンのもと、「全く新たな領域創造」をテーマに新ビジネス・新ブランド・新商品創りなどの事業施策を推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,822百万円（前年同期比10.3%増）となりました。利益面では、販売費及び一般管理費が人件費、販売促進費の増加などにより4,750百万円（前年同期比13.9%増）となった一方、増収効果に加え売上総利益率が前年同期の50.9%から52.1%と1.2ポイント増加したことにより、営業利益は887百万円（前年同期比8.0%増）、経常利益は898百万円（前年同期比8.2%増）、四半期純利益は492百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

なお、海外展開につきましては、平成24年11月に設立した非連結子会社の台湾北壽心股份有限公司が本年7月に台湾台北市に海外初出店となるカフェ店舗「KONAYUKI」を立上げました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

従来、「その他」に含めておりました「ジャパルシー」については、量的な重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する方法に変更しており、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、前年同四半期の算定方法につきましても当四半期の区分に組み替え後の数値に基づいて算定しております。

#### ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、プロモーションと連動した主力商品の販売強化、ルタオ15周年記念スイーツなど新商品の投入、夏ギフト対策の強化、DM企画の充実、楽天市場などネット通販対策の強化などに注力いたしました。また、新規出店では、新業態として本年7月、東京・表参道にアントルメグラッセの専門店「グラッセル」を出店いたしました。

その結果、売上高は、グループ向け売上、道内店舗及び通信販売が伸長したことなどにより3,610百万円（前年同期比11.0%増）となり、営業利益は307百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

#### 寿製菓

寿製菓は、出雲大社の「平成の大遷宮」行事により観光客が増加傾向にある山陰地区において主力商品の販売強化や20周年を迎えた「お菓子の壽城」のイベント開催など地元対策の強化に注力いたしました。その結果、売上高は4,006百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は413百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

#### 販売子会社

販売子会社は、駅・空港・高速道路などの交通機関チャンネルを中心に、販売強化に努めました。地区別では、九州地区が低迷した一方、東海地区は、発売3年目を迎えた「小倉トーストラングドシャ」の拡販と伊勢神宮の遷宮行事で観光客増加を背景に堅調に推移しました。また、関西地区では駅・空港など直営店が低迷した一方、催事展開の強化により前年同水準となりました。その結果、売上高は2,249百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は123百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

#### 九十九島グループ

九十九島グループは、テーマパーク向け売上が低迷した一方、主力商品の販売強化、福岡・大名に本年6月にオープンしたフレンチトーストの専門店「アイボリッシュ」の展開強化に努めました。その結果、売上高は1,453百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は50百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

#### 但馬寿

但馬寿は、主力商品の「遊月亭の黒豆茶」の通信販売の伸び悩んだ一方、「伊勢奉祝えび煎餅」などグループ向け売上が堅調に推移した結果、売上高は576百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は44百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

#### シュクレイ

首都圏での多ブランド展開に注力しておりますシュクレイは、既存店舗の売上増大に向け、販促強化や新商品投入などに注力いたしました。その結果、売上高は、前期に出店した「ザ・メープルマニア」東京駅グランスタダイニング店や「東京ミルクチーズ工場」東京スカイツリー店、アトレ吉祥寺店などの出店効果と既存店舗の好調などにより1,095百万円（前年同期比48.0%増）となり、営業利益は22百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

## ジャパルシー

美と健康をテーマに事業を展開するジャパルシーは、昨年10月より試験的に事業を開始し、本年5月に事業を本格稼働いたしました。「栃の実」・「藍」などの天然由来素材の有効性を活かした健康食品を主力にシャンプー、ボディシャンプーなどのパーソナルケア製品や化粧品ブランド「アイサクラ」を商品群に加え、事業モデルの確立と会員顧客獲得に向けて説明会の開催やキャンペーンの実施などに注力いたしました。その結果、売上高は86百万円となり、営業損失は78百万円（前年同期は営業損失74百万円）となりました。

### その他

その他は、損害保険代理業、通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。売上高は21百万円（前年同期は2百万円）となり、利益面では通販基幹業務システムサービス事業の人の人件費の増加などにより営業損失は25百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

## (2) 財政状態の状況

### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、13,804百万円となり、前連結会計年度末と比べ50百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（227百万円）、有形固定資産の増加（144百万円）及び投資その他の資産の増加（89百万円）などの要因によるものです。

負債は、6,536百万円となり、前連結会計年度末と比べ128百万円減少いたしました。主な要因は、流動負債におけるその他の減少（214百万円）、1年内返済予定の長期借入金の減少（182百万円）、長期借入金の増加（148百万円）などの要因によるものです。

純資産は、7,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ178百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加（492百万円）、配当金の支払いによる減少（311百万円）などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加し、52.6%となり、1株当たり純資産は700円65銭となりました。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、1,880百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、545百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益892百万円、減価償却費の計上288百万円、賞与引当金の増加41百万円の計上があった一方、法人税等の支払436百万円などの減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、506百万円（前年同期比90.0%増）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出405百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、264百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

主な要因は、長期借入れによる収入450百万円及び短期借入金の純増額100百万円の増加要因があった一方、長期借入の返済による支出483百万円及び配当金の支払311百万円などの減少要因によるものであります。

(3) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、20,982千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数に著しい増減はありません。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設について、当第2四半期連結累計期間に完成したものは次のとおりであります。

会社事業所名	所在地	セグメントの名称	設備の内容	投資額 (千円)	完了年月	完成後の 増加能力
(株)ケイシイシイ グラッセル	東京都渋谷区	ケイシイシイ	新店舗建設	226,659	平成25年7月	(注)2

(注) 1. 金額には消費税等を含めておりません。

2. 当該計画は新店舗の出店のため、生産能力の大幅な増加はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,400,000
計	30,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,373,840	10,373,840	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	10,373,840	10,373,840	-	-

(注) 当社株式は、平成25年4月3日をもって、東京証券取引所市場第二部に株式を上場いたしました。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	10,373,840	-	1,217,800	-	550,269



(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
エスカワゴエ株式会社	鳥取県米子市旗ヶ崎9丁目8-24	2,600	25.06
河越 誠剛	鳥取県米子市	727	7.01
寿スピリッツ従業員持株会	鳥取県米子市旗ヶ崎2028	412	3.97
株式会社山陰合同銀行	鳥根県松江市魚町10	300	2.89
とりぎんリース株式会社	鳥取県鳥取市扇町9番地2	254	2.45
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲2-10-17	120	1.16
福山通運株式会社	広島県福山市東深津町4-20-1	120	1.16
高橋 紀代子	鳥取県米子市	111	1.07
松本 能利子	鳥取県米子市	110	1.06
中村 光枝	京都府城陽市	104	1.01
計	-	4,859	46.84

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,372,800	103,728	-
単元未満株式	普通株式 740	-	-
発行済株式総数	10,373,840	-	-
総株主の議決権	-	103,728	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数60個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
寿スピリッツ株式会社	鳥取県米子市旗ヶ崎2028	300	-	300	0.00
計	-	300	-	300	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,647,934	2,420,734
受取手形及び売掛金	2,145,427	2,113,183
商品及び製品	592,651	616,466
仕掛品	26,452	29,347
原材料及び貯蔵品	329,949	333,096
その他	387,657	435,330
貸倒引当金	10,029	7,973
流動資産合計	6,120,041	5,940,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,991,335	3,149,773
機械装置及び運搬具(純額)	561,731	584,781
工具、器具及び備品(純額)	222,689	238,224
土地	2,500,667	2,500,667
リース資産(純額)	30,717	20,533
建設仮勘定	62,498	19,971
有形固定資産合計	6,369,637	6,513,949
無形固定資産	131,230	127,021
投資その他の資産		
その他	1,223,062	1,319,321
貸倒引当金	89,076	95,517
投資その他の資産合計	1,133,986	1,223,804
固定資産合計	7,634,853	7,864,774
資産合計	13,754,894	13,804,957
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	758,528	767,398
短期借入金	2,000,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	618,804	436,585
未払法人税等	439,214	403,358
賞与引当金	361,847	402,864
その他	891,718	677,402
流動負債合計	5,070,111	4,787,607
固定負債		
長期借入金	550,813	699,142
退職給付引当金	784,326	804,007
その他	259,686	246,028
固定負債合計	1,594,825	1,749,177
負債合計	6,664,936	6,536,784

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	4,522,054	4,703,496
自己株式	326	326
株主資本合計	7,062,689	7,244,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,269	24,042
その他の包括利益累計額合計	27,269	24,042
純資産合計	7,089,958	7,268,173
負債純資産合計	13,754,894	13,804,957

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	9,808,823	10,822,747
売上原価	4,816,352	5,185,572
売上総利益	4,992,471	5,637,175
販売費及び一般管理費	4,170,808	4,750,061
営業利益	821,663	887,114
営業外収益		
受取利息	226	218
受取配当金	1,837	1,852
受取地代家賃	9,165	8,057
その他	19,855	22,101
営業外収益合計	31,083	32,228
営業外費用		
支払利息	19,399	15,764
その他	3,321	5,383
営業外費用合計	22,720	21,147
経常利益	830,026	898,195
特別損失		
固定資産売却損	39	76
固定資産除却損	286	5,253
特別損失合計	325	5,329
税金等調整前四半期純利益	829,701	892,866
法人税等	332,114	400,220
少数株主損益調整前四半期純利益	497,587	492,646
四半期純利益	497,587	492,646

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	497,587	492,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,945	3,227
その他の包括利益合計	7,945	3,227
四半期包括利益	489,642	489,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	489,642	489,419

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	829,701	892,866
減価償却費	275,886	288,980
貸倒引当金の増減額(は減少)	36,813	4,385
賞与引当金の増減額(は減少)	2,515	41,017
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,477	19,681
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	98,042	-
受取利息及び受取配当金	2,063	2,070
支払利息	19,399	15,764
固定資産売却損益(は益)	39	76
固定資産除却損	286	5,253
売上債権の増減額(は増加)	53,254	32,244
たな卸資産の増減額(は増加)	31,782	29,857
仕入債務の増減額(は減少)	2,124	8,870
その他	27,198	283,121
小計	931,641	994,088
利息及び配当金の受取額	1,983	2,139
利息の支払額	19,417	14,744
法人税等の支払額	456,014	436,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,193	545,061
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	600	300
定期預金の払戻による収入	1,200	1,300
投資有価証券の取得による支出	1,468	603
有形固定資産の取得による支出	250,864	405,064
有形固定資産の売却による収入	19	57
無形固定資産の取得による支出	15,195	14,125
貸付金の回収による収入	250	-
関係会社株式の取得による支出	-	63,336
出資金の回収による収入	-	475
敷金及び保証金の差入による支出	-	2,287
敷金及び保証金の回収による収入	-	10,932
その他	5	33,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	266,663	506,621
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	100,000
長期借入れによる収入	-	450,000
長期借入金の返済による支出	269,774	483,890
ファイナンス・リース債務の返済による支出	12,046	12,046
自己株式の取得による支出	14	-
配当金の支払額	207,470	311,204
その他	7,500	7,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	296,804	264,640
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	105,274	226,200
現金及び現金同等物の期首残高	1,981,870	2,106,934
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,876,596	1,880,734

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
従業員給料・賞与	1,135,604千円	1,323,721千円
販売促進費	758,972	854,272
貸倒引当金繰入額	3,637	4,385
賞与引当金繰入額	191,228	189,454
退職給付引当金繰入額	16,832	15,886

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	2,416,996千円	2,420,734千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	540,400	540,000
現金及び現金同等物	1,876,596	1,880,734

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	207,470	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	311,204	30.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	ジャパル シー
売上高							
外部顧客への売上高	3,060,247	2,407,982	2,130,749	1,310,749	156,277	740,170	-
セグメント間の内部 売上高又は振替高	193,589	1,298,664	-	138,479	371,852	-	-
計	3,253,836	3,706,646	2,130,749	1,449,228	528,129	740,170	-
セグメント利益 (は損失)	298,546	349,494	108,390	59,428	40,297	24,191	74,259

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	9,806,174	2,649	9,808,823	-	9,808,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,002,584	-	2,002,584	2,002,584	-
計	11,808,758	2,649	11,811,407	2,002,584	9,808,823
セグメント利益 (は損失)	806,087	643	805,444	16,219	821,663

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益(は損失)の調整額16,219千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額270,350千円、セグメント間取引消去額7,485千円、たな卸資産の調整額5,116千円、各報告セグメントに配分していない全社費用256,500千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	ジャパル シー
売上高							
外部顧客への売上高	3,208,193	2,702,678	2,249,380	1,313,081	147,364	1,095,404	86,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	402,648	1,303,736	-	140,391	429,010	-	-
計	3,610,841	4,006,414	2,249,380	1,453,472	576,374	1,095,404	86,474
セグメント利益 (は損失)	307,415	413,646	123,049	50,620	44,972	22,954	78,969

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	10,802,574	20,173	10,822,747	-	10,822,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,275,785	1,218	2,277,003	2,277,003	-
計	13,078,359	21,391	13,099,750	2,277,003	10,822,747
セグメント利益 (は損失)	883,687	25,385	858,302	28,812	887,114

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業、通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。

2. セグメント利益(は損失)の調整額28,812千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額300,687千円、セグメント間取引消去額6,566千円、たな卸資産の調整額4,938千円、各報告セグメントに配分していない全社費用273,503千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より「その他」に含めておりました「ジャパルシー」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

著しい変動がないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

著しい変動がないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	47円97銭	47円49銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	497,587	492,646
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	497,587	492,646
普通株式の期中平均株式数(株)	10,373,483	10,373,476

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

寿スピリッツ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 憲次 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 後藤 英俊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている寿スピリッツ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、寿スピリッツ株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。